

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年6月19日

事業者名: 株式会社丸正早川水栓

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	特にメッキ工程に発見される不適合品を減らす為の取組を進め資源の効率的な利用を促進し、生産性の向上を常に目指しています。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑬気 候変動に具体的な対策を	R6年度実績： ・不適合品発生率：現在12% ・メッキ不良による廃棄量： 月108kg ・生産性向上取組み：QCサー クル活動実施中	指標	不適合品重量
					目標	2030年度までにR6年度比： ・不適合品率30%削減（8.4%以下 ） ・年間メッキ不良廃棄量30%削減 ・生産性向上15%達成
社会	女性の躍進を目指して産休育休制度の拡充、 時間単位での有給取得、さまざまな世代が働 きやすい環境を整備しています。		⑤ジェンダー平等を実現 しよう、⑰パートナーシ ップで目標を達成しよう	R6年度実績： ・採用人数：男性0名、女性 2名 ・女性採用比率：現在100%（ それ以前は0～20%） ・時間単位有給取得制度：導 入済	指標	女性の採用比率
					目標	2030年度まで： 女性採用比率40%以上を確保 ・多世代が働きやすい職場環境整 備 ・働きがい向上施策の実施
経済	風力発電などのグリーンエネルギーで生産さ れた材料を多く採用し持続可能な調達活動に 配慮、金属スクラップは純度の高い再生資源 として保管・リサイクルしています。		⑧働きがいも経済成長も 、⑫つくる責任 つかう責 任	R6年度実績： ・使用材料におけるグリーン エネルギー生産品：65%	指標	グリーンエネルギーで生産された 材料の採用比率70%以上
					目標	2030年度までにR6年度比： グリーンエネルギーで生産された 材料の採用比率80%以上
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ R6年度社内QCサークル活動にて「メッキ工程不良削減活動」を実施。R7年度は引き続き隔週で不適合品の定性、定量確認を継続している。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ S D G s の取組み記載ページのURL：https://hayakawa-suisen.co.jp/				